



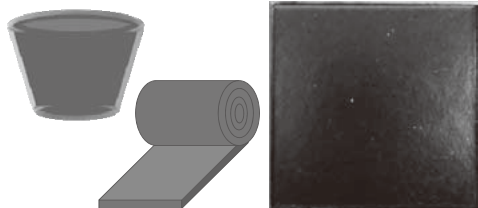
バイオマスマテリアルの開発研究

環境調和プラスチック技術

技術分野分類 7702：環境農学

技術キーワード G：バイオマス

産業分類 A-01：農業

内 容	概 要	未利用海藻アナアオサとアマモを使って、板状のバイオボードを作製し、その力学的特性を調べます。アナアオサやアマモを水の中で破砕し、離解処理を行った後、圧縮成形を行い、板状のバイオボードを作ります。農業用マルチや苗木ポット等への応用を目指します。プラスチックの代替材料として利用できれば、石油資源の枯渇による資源危機に対応することができます。このバイオボードは生分解可能で環境に優しいバイオマスマテリアルです。
	従来技術・ 競争技術 との比較 (優位性)	様々な材料から、バイオマスの生成に関する研究されていますが、海藻を原料とするバイオマテリアル開発は、従来のプラスチックによる環境負荷の低減に繋がり、環境にやさしい再生可能な資源の利用となります。
	本技術の 有用性	未利用海藻アナアオサとアマモを使って研究しているところが、ポイントとなります。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>バイオマス素材の開発 LCA 手法による食品の環境評価 オフロード車両走行性能向上 土壌付着防止技術</p>  <p>http://www.bio.mie-u.ac.jp/kankyo/joho/energy/wang/index.html</p>
適用可能製品		バイオマス利用分野、生分解バイオプラスチック等の環境負荷低減産業全般への適用が可能です。
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	王 秀崙 三重大学 生物資源学研究科 共生環境学専攻 エネルギー利用工学研究室 教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重大学 社会連携研究センター 059-231-5364/059-231-9743 liaison@crc.mie-u.ac.jp

■知的財産

特開 2011-041489 水滴除去アタッチメントおよびそのアタッチメントを備える収穫装置

■試作品状況

無



提供可

作成日 2014 年 2 月 18 日